

愛知県福祉サービス第三評価事業 評価結果

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②施設・事業所情報

名称：ぽっぽ第一保育園	種別：保育所	
代表者氏名：塩野 知美	定員（利用人数）： 20名	
所在地： 名古屋市中区金山一丁目7-10 金山名藤ビル2F		
TEL： 052-253-8154		
ホームページ：http://www.kids-school.jp/company-new.html		
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 平成23年7月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）： コスモペース株式会社		
職員数	常勤職員： 7名	非常勤職員 6名
専門職員	（専門職の名称） 名	
	保育士 6名	保育士 3名
	調理員 1名	調理員 2名
		看護師 1名
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室 1室 乳児室 2室 遊戯室 1室 調理室 1室 ほふく室 1室 職員室(医務室) 1室	屋外遊戯場 1 トイレ 1

③理念・基本方針

理 念	グローバルな時代を生きていかなければならない子ども達は、多くのことを学ばなければなりません。その基礎となる「体力・コミュニケーション能力・創造力」を育てることを目標とします。
保育方針	<ul style="list-style-type: none"> ◆一人ひとりの子どもの人権や自発性を最大限尊重し、自我を豊かに育てます。 ◆まわりの人や物に対する優しさと、仲間を大切にできる気持ちを育てます。 ◆四季の変化を感じながら、自然との触れ合いを大切にし、五感を育てます。 ◆一人ひとりの子どもの人権や自発性を最大限に尊重し、自我を豊かに育てます。

④施設・事業所の特徴的な取組

・ 0歳～2歳児対象の保育園
・ 毎日の英語保育(2歳児を中心にして、0・1歳児にも実施)
・ 都市部の駅前のビルで保育所を開設している。開設されたばかりの保育所なのでこれから地域との関係を作っていく。主に商店街との関係が中心である。
・ 保育はビルの一室で行っているが、近隣には4つの公園があるので、天候の良い時等散歩をしている。
・ 母体会社では英語教育を行っているので、ネイティブスピーカーによる濃厚な幼児向け英語保育を行っている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成28年5月11日(契約日)～ 平成29年3月31日(評価決定日)
受審回数 (前回の受審時期)	0回(平成 年度)

⑥総評

◇特に評価の高い点

<外国の異文化を認め合って多様性を尊重する保育に力を入れている>

事業計画の中で「人権を尊重し互いの多様性を認め合う心、豊かな想像力や感性を共に育む」と明文化されており、子どもの人格を尊重する保育に重点を置いている。また、グローバルな視点で保育に臨んでおり、外国の異文化を認め合って多様性を尊重する保育に力を入れている。

<職員間のチームワークの良さと向上心がある>

小規模保育園であり、少人数の職員ながら、園長と主任との協働関係ができており、指導力に優れ、職員間のチームワークも良い。現状に満足せず、見直しや保育の向上に努めている。

<各種たよりがわかりやすい>

食育だよりは季節感のある内容であり、保健だよりは現状に合った病気の症例をあげる等とても良い便りになっている。

<収納に様々な工夫がみられる>

整理整頓が行き届き、収納に様々な工夫がみられ、限られたスペースを有効に使っている。

◇改善を求められる点

<生活環境の工夫に向けた取り組みに期待したい>

廊下やトイレの広さは広いとは言い難い環境の中で、2歳児は自立に向かって自分でやりたい気持ちが生まれる時期である。また活発な遊びを好み、投げる、走る、飛ぶ等バランスや筋力を鍛える段階である。英語教育と並行し、そうした運動面での活動をどう確保できるかが課題となる。また生活習慣の確保に向かって自分の持ち物がわかり、片づけたり準備できる生活環境の整備も望まれる。さらに、現在利用している公園に文化会館ができるようであり、戸外での新たな活動の場の確保が必要になってくる。課題があるが、できたばかりの園であるので、これからの取り組みに期待したい。

<地域の連携と交流の拡充に期待したい>

事業計画に「地域のつながりを大切に」「地域に開かれ、地域と共にある保育園」が明文化されている。当園は駅前ビル街の中心に位置しているので、地域の商店街の夏祭りに参加したり、金融機関などで作品を展示したり、地域のハロウィンパーティに参加したりする等して地域との交流に努めている。まだ、開設1年目であり、行事への参加の呼びかけ等、今後のさらなる交流の拡充に向けた取り組みに期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の福祉サービス第三者評価の受審を通して、支援や今後の方針について見直すよい機会となりました。評価では、良い点や改善すべき点などにつきましてご指摘をいただきました。今後、改善すべきと指摘された点については、継続的に改善に向けた取り組みを行うとともに、評価の良かった点についても更なる改善に努めることで、今後、多様化する利用者のニーズに対応した保育サービスの提供に努めていきたいと考えています。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

第三者評価結果

※すべての評価細目（65項目）について、判断基準（a・b・cの三段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果	
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。			
I-1-(1)-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	保1	Ⓐ ・ b ・ c
<コメント> 保育理念として「グローバルな時代を生きていかなければならない子ども達は、多くのことを学ばなければなりません。その基礎となる「体力・コミュニケーション能力・創造力」を育てることを目標とします。」が明文化され、それに基づき、4つの基本方針が明文化されている。理念・基本方針から当園の特色、目指す方向や考え方が読み取れる。また、毎週、職員会議で理念・基本方針の読み合わせを実施するとともに、パンフレット、ホームページやフェイスブックへの掲載、園内掲示や入園のしおりを用いた説明を通じて保護者への周知を図っている。			

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果	
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			
I-2-(1)-①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	保2	Ⓐ ・ b ・ c
<コメント> 保育関係の動向については、各種研修会への参加を通して情報収集を行い、またインターネットや各種専門誌から情報収集し、職員に周知を図っている。地域ニーズについては、関係機関との連携や見学・相談等を通して地域の未就園児等のニーズの把握に努めている。経営状況については、会計事務所による経営分析や指導を受けている。			
I-2-(1)-②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	保3	a ・ Ⓑ ・ c
<コメント> 保育所が位置する地域の特徴やニーズについては、まだ開設一年目であるので、十分把握されているとは言い難い。また、園の組織体制、人材育成等の体制整備は今後の課題でもある。今後、さらなる地域の関わり強化や経営体質の強化に向けた取り組みに期待したい。			

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果	
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
I-3-(1)-①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	保4	a ・ Ⓑ ・ c
<コメント> 中・長期計画を策定し、中・長期ビジョンを明確にしている。保育サービスの質の向上、地域の子育てニーズの把握、地域の拠点施設としての情報発信、多世代交流の推進、経営基盤の安定と経営体質の強化等についてビジョンが示されている。今後、予算を伴う計画の具体化に向けた取り組みに期待したい。			

I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	保5	a ・ (b) ・ c
<p><コメント> 事業計画の策定は、中・長期計画を踏まえ、経営状況を分析し、保育・児童福祉制度動向や変化するニーズを把握し、施設の地域性や独自性を反映させて策定し、一年間で取り組むべき内容を事業計画として策定し、行事、保育サービス、職員体制や研修等が盛り込まれたものとなっている。今後、予算を伴う計画の具体化に向けた取り組みに期待したい。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	保6	(a) ・ b ・ c
<p><コメント> 小規模の保育園であり、職員間の連携や情報の共有化に優れている。計画策定にあたっては、園長を中心にして運営全体に渡って検討し、職員参画のもと事業計画に落とし込み、事業計画を職員に配布して職員会議で説明している。各計画の評価・見直しは職員会議で話し合い、次期計画へと反映させている。</p>		
I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	保7	a ・ (b) ・ c
<p><コメント> 中・長期計画や事業計画の要旨を保育園のしおりに明記し、新年度に保護者に説明している。今後、事業計画全体についてわかりやすく開示する工夫に向けた取り組みに期待したい。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	保8	a ・ (b) ・ c
<p><コメント> 保育の資の向上を図るべくチェックリストをもとに保育士の自己評価を実施、園内研修の実施や職員の外部研修への積極的参加等に取り組んでいる。また、母体法人においてISO国際規格を取得しており、当園でも組織的なPDCAのプロセスが機能する体制整備に向けた取り組みを行っている。今年度は第三者評価の受審がなされているが、保育所全体で行う自己評価の仕組みの構築までには至っていない。今後、保育所全体で行う自己評価の仕組みの構築に向けた取り組みに期待したい。</p>		
I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	保9	a ・ (b) ・ c
<p><コメント> 保育の資の向上を図るべくチェックリストをもとに保育士の自己評価を実施しているが、保育所全体で行う自己評価の仕組みの構築までには至っていない。今後、保育所全体で行う自己評価の中で、自己の保育内容を振り返って運営上の課題を明確化し、改善に向けた組織的な取り組みに期待したい。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	保10	(a) ・ b ・ c
<p><コメント> 事務分掌を作成し、管理者の役割と責任について明文化し、職員全員に配付して周知を図っている。園長は、年度当初の園だよりで責任や抱負を明示し、会議等の機会を捉えては責任を表明し、行動している。</p>		

II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	保11	a ・ (b) ・ c
<p><コメント> 研修会の参加等を通じて遵守法令の理解に努め、職員会議や園内研修を通して職員への周知を図っている。しかし、関係法令もここ近年、改廃が多く、年々更新させていくので、重要度別や項目別などにリスト化し一覧性を高め、常に新たな根拠法の周知に向けた取り組みに期待したい。</p>		
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	保12	(a) ・ b ・ c
<p><コメント> 園長は、職員の質の向上に意欲を持ち、保育現場で職員一人ひとりの意見を聞き、保育の現状把握に努めるとともに職員の意見を認めながら助言する等して保育の資の向上を図るべく取り組んでいる。また、運営上の課題を明確化し、改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。</p>		
II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	保13	a ・ (b) ・ c
<p><コメント> 経営や業務の効率化と改善については、法人本部では、民間事業所のノウハウを活かした経営分析に基づき、人事、労務、財務等それぞれの視点から検証を行い、経営体質強化に向けた取り組みを行っている。しかし、園長においては、園運営のための経費節約や効率的かつ有効な予算の使い方等を工夫しているが、事業経営全体の観点からの分析までには至っていない。</p>		

II-2 福祉人材の確保・育成

第三者評価結果		
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	保14	(a) ・ b ・ c
<p><コメント> 母体法人を活用する等様々なチャネルを通じた効果的な採用活動ができている。計画的な外部研修への参加や積極的な園内研修の実施等職員の教育研修に力を入れているとともに、小規模のメリットを活かして、OJTを通じたきめ細やかな定着支援を行っている。</p>		
II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	保15	a ・ (b) ・ c
<p><コメント> 小規模で家族的な組織体のメリットを活かした個別指導を実施しているとともに、母体法人の人事管理システムを活用した人事管理を行っており、客観的な人事考課基準ができている。まだ、開設1年目の園であるので、今後、当園としての職員の生涯設計のモデルを示したキャリア・パスの仕組みの構築に向けた取り組みに期待したい。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	保16	a ・ (b) ・ c
<p><コメント> 職員の有給休暇の取得状況を定期的にチェックし、積極的に取得できるよう配慮している。また園長は就業状況をチェックし、日々の業務の中で意向を把握し、分析・検討している。また職員が相談しやすい職場環境の整備に心掛け、園長、主任が相談に応じている。小規模園の課題として、少ない職員数で保育現場の運営にあたる必要があり、その中で、希望に応じた有給休暇の完全取得の実現について困難な状況がある。</p>		

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	保17	a ・ (b) ・ c
<コメント> 職員個々の目標管理、職員の個々の保育実践アセスメント、能力開発に資する目標管理制度に向けた取り組みに期待したい。		
II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	保18	(a) ・ b ・ c
<コメント> 事業計画の中で、保育士の資質向上が謳われ、研修への姿勢が明示されている。研修の年間計画が策定され、その中で、職位別研修や様々な外部研修が実施されている。		
II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	保19	(a) ・ b ・ c
<コメント> 職員個々に着目した年間研修計画が作成され、実施されている。研修後は報告書の提出や職員会議等での伝達講習を通して職員全体で研修成果を共有している。またOJTを通したきめ細やかな現場指導を行っている。		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	保20	a ・ (b) ・ c
<コメント> 実習生の受け入れマニュアルを整備し、その意義や基本方針について職員会で検討する等受け入れ体制を確立している。開設1年目であり、実績や経験はこれからであるが、今後、実習プログラムを作成する等実習体制強化に向けた取り組みに期待したい。		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	保21	a ・ (b) ・ c
<コメント> ホームページ上で、理念・基本方針をはじめ、保育園の内容、その他運営状況等を公開している。財務諸表、事業計画、事情報告、苦情解決については事業所での開示である。今後、ホームページ上での財務諸表、事業計画、事情報告、苦情解決等についてさらなる開示に向けた取り組みに期待したい。		
II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	保22	a ・ (b) ・ c
<コメント> 公認会計士事務所による指導や指摘事項にもとづいて、事務、経理、取引等に関するルールが明確になっており、経営改善を実施している。		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		

II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	保23	a ・ (b) ・ c
<p><コメント> 事業計画に「地域のつながりを大切に」「地域に開かれ、地域と共にある保育園」が明文化されている。当園は駅前ビル街の中心に位置しているので、地域の商店街の夏祭りに参加したり、金融機関等で作品を展示したり、地域のハロウィンパーティに参加したりする等して地域との交流に努めている。まだ、開設1年目であり、行事への参加の呼びかけ等、今後のさらなる交流の拡充に向けた取り組みに期待したい。</p>		
II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	保24	a ・ b ・ (c)
<p><コメント> ボランティアの受け入れはまだ行っていない。乳児専門の保育所なので、どのような形で受け入れができるか検討したいとのことであるので、今後の取り組みに期待する。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	保25	a ・ b ・ (c)
<p><コメント> 市の所長研修会や区の園長会に参加し、情報交流に努めている。地域の特性から民家や福祉関係施設もあまりなく、自治会、民生児童委員等の地域団体との連携促進も今後の課題となっている。</p>		
II-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	保26	a ・ b ・ (c)
<p><コメント> クリスマス会等の行事を開放し、地域の未就園児の親子に参加していただいている。しかし、住宅が少ない駅前ビル街の立地である地域の特性がまだ把握できておらず、まだ地域の潜在的ニーズが見えてこない。また、乳児専門の小規模保育園でどのような機能で対応できるのか模索中である。</p>		
II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	保27	a ・ b ・ (c)
<p><コメント> 社会福祉法人改革の流れの中で、社会福祉事業にとどまらない新たな地域貢献活動分野の拡充が要請されるようになってきた。しかし公益分野において、民間の小規模事業所にどのような活動が可能なのか模索中でもある。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	保28	(a) ・ b ・ c
<p><コメント> 事業計画の中で「人権を尊重し互いの多様性を認め合う心、豊かな想像力や感性を共に育む」と明文化されており、子どもの人格を尊重する保育に重点を置いている。また、グローバルな視点で保育に臨んでおり、外国の異文化を認め合って多様性を尊重する保育に力を入れている。</p>		
Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	保29	a ・ (b) ・ c
<p><コメント> プライバシー保護について、研修を通じて職員に周知徹底を図るとともに、保護者に入園のしおりをういて説明している。ビル中にある保育園であり、外部からのプライバシーは完全に確保された保育環境にある。しかし乳児保育におけるプライバシー保護の規定やマニュアル、不適切な事例が発生した場合の対応方法等の明示はできていない今後の取り組み課題である。</p>		

Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	保30	a · b · c
<p><コメント> サービス情報はパンフレット、園だよりやホームページ等、様々な方法でサービス内容をわかりやすく発信している。外国の保護者には英文のパンフレットで説明している。また見学希望者に丁寧に対応している。</p>		
Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	保31	a · b · c
<p><コメント> 入園にあたり、入園希望の保護者に保育理念、基本方針、入園手続き、保育内容や利用料等を分かりやすく作成した「入園のしおり」等の資料をもとに十分な説明を行い、同意を得ている。</p>		
Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	保32	a · b · c
<p><コメント> 保育サービスの変更や転園に際しては、引継ぎの手順書を整備し、子どもの育ちの継続性に配慮した対応を行っている。また保育修了時にその後も相談が可能であることを説明している。その後の保育方法や担当者について記載した保護者用の文書は作成していない。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	保33	a · b · c
<p><コメント> 保護者アンケートの実施や送迎時の声かけ等を通して、保護者の意向把握に努め、把握した保護者の意見要望を職員会議で分析・検討し、保育の質の上昇に努めている。今後とも、保護者と接する様々な機会をとらえて、意向把握の工夫に向けた取り組みに期待したい。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	保34	a · b · c
<p><コメント> 玄関に意見箱を設置し、苦情解決の仕組み、第三者委員や苦情相談責任者・担当者を分かりやすく明記した重要事項説明書作成し、保護者に渡して丁寧に説明している。</p>		
Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	保35	a · b · c
<p><コメント> 小規模保育園なので、全ての保育士がすべての子どもを把握し、職員誰もが相談を受ける体制ができている。保護者が話しやすい雰囲気づくりに心がけ、送迎時には積極的に声をかけ、できるだけふれあいを多く持つよう努めている。園舎は広く、相談場所も意見を述べやすいスペースを確保している。</p>		
Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	保36	a · b · c
<p><コメント> 意見や苦情を受け付けた場合、苦情対応マニュアルに沿って職員会議で検討し、速やかに対応する等保育の改善につなげる仕組みがある。</p>		

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な保育の提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	保37	Ⓐ ・ b ・ c
<コメント> 子どもの安全確保のための各種の危機管理マニュアルが整備されている。また遊具等についてのチェック表を活用して、担当者を決めて点検を実施している。安全確保に係る各種研修の実施やヒヤリハット事例検討を通して職員の危険回避意識を高めている。不審者訓練についても定期的実施している。		
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	保38	Ⓐ ・ b ・ c
<コメント> 感染症マニュアルを整備し、看護師が中心になり、感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制づくりに取り組んでいる。発生した場合は速やかに通知し、適切な対応を行うとともに保護者が不安にならないよう対応について速やかに説明する体制ができています。		
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にやっている。	保39	a ・ Ⓑ ・ c
<コメント> 防災マニュアルを整備し、防災計画を策定し、避難訓練を定期的に行っている。今後、南海トラフ地震の発生も危惧されているが、あらゆる事態を想定した対策が要請されている。今後とも、さらなる対策強化に向けた取り組みに期待したい。		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(1)-① 提供する保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	保40	a ・ Ⓑ ・ c
<コメント> 個々のサービスの標準的な実施方法については、個々のサービスに応じた各種マニュアルを作成し、会議等を通じて職員に周知している。プライバシー保護に関するマニュアル等整備に向けて、まだ途上段階のマニュアルもあるので、今後さらなる整備の充実に向けた取り組みに期待したい。		
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	保41	a ・ Ⓑ ・ c
<コメント> 各種マニュアルの見直しは職員会議で行われているが、十分ではない。今後、定期的な見直しや、必要な場合の随時見直しの仕組みづくりに向けた取り組みに期待したい。		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	保42	a ・ Ⓑ ・ c
<コメント> 利用者のアセスメントについては、統一した様式を使用し、定められた手順に従って行い、個別指導計画が策定され、全職員で共有している。成長がめざましい乳児期の子どもたちなので、今後とも継続して、よりきめ細やかなアセスメントに努められたい。計画策定にあたり、保育所以外の関係者や保護者の参画は確認できていない。		

Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	保43	a ・ (b) ・ c
<コメント> 指導計画は職員会議で定期的に評価分析を行い、見直しを行っている。ひと月ごとの定期的な見直しに係る手順等についての組織的な仕組みは、完全に確立されたとは言えない段階にある。		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化させている。	保44	a ・ (b) ・ c
<コメント> サービス実施の記録については、統一された個別記録に子ども一人ひとりの発達状況が詳細に記録されている。小規模の保育園なので、速やかな職員間での共有化ができています。		
Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	保45	(a) ・ b ・ c
<コメント> 記録の管理体制については、個人情報保護に関するマニュアルが整備されており、個人情報保護の遵守については、職員会議や園内研修等で全職員に周知の徹底を図っている。また記録された個人情報は、電子データでも、ペーパーベースについても厳重に管理されている。		

A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程の編成		
A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標にも基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	保46	a ・ (b) ・ c
<コメント> 認可されて間もない保育園であるので、保育課程は現在名古屋市の保育課程を基にして編成されている。今後、地域性を踏まえて園独自の特色を取り入れて編成されることを期待する。		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	保47	a ・ (b) ・ c
<コメント> 保育室は採光に優れ、室温・湿度は快適に調整され、適切に換気がなされており、明るく清潔な環境である。また建物の2階という限られた環境の中でできる活動（マット等を使った遊び）を取り入れている。今後、子どもの発達段階を考慮して「くぐる、登る」等の活動もできる環境作りに向けた取り組みに期待したい。		
A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	保48	(a) ・ b ・ c
<コメント> 子ども一人ひとりの発達を適切にとらえ、職員間で話し合う等共通理解を深めている。子どもの状況があるがまま受け止め、子どもの欲求に応じて対応している。訪問時に子どもにわかりやすい言葉で、おだやかに話しかけている職員の様子が見て取れた。		

A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	保49	a ・ <input checked="" type="radio"/> b ・ c
<p><コメント> 0～2歳児を受け入れている保育園である。睡眠する部屋は独立しているので、静かな環境である。トイレについては少し狭いが、主として2歳児が交替して使用している。また子どもたちの持ち物はロッカーで整理されているが、2歳児の生活習慣を育てるため、自分で片づけができるように個別にシールでわかるようにする等、自分でやりたいという意欲を抱かせる環境作りが必要だと思われる。</p>		
A-1-(2)-④ こどもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	保50	a ・ <input checked="" type="radio"/> b ・ c
<p><コメント> 訪問時、子どもたちが同じブロックのおもちゃで遊んでいたが、様々なおもちゃを準備し、好きなおもちゃを選ばせ遊ばせる等、子どもが主体的に活動できる環境を整備されたい。ビルの一室という限られた保育環境の中でいかに子どもの生活と遊びを豊かにできる保育ができるか今後の課題である。より良い環境整備に向けた取り組みに期待する。</p>		
A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保51	<input checked="" type="radio"/> a ・ b ・ c
<p><コメント> 少人数保育を実践しているので、保育室の中は静かでゆったりとした環境になっている。またフロアには柔らかい板を使用しており、安全性に優れ、乳児保育には良い環境となっている。また保育士は子ども一人ひとりと応答的な関わりをし、愛着関係の構築に努めている。</p>		
A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保52	<input checked="" type="radio"/> a ・ b ・ c
<p><コメント> 天気の良い日には、近隣の公園等に散歩に出かける等して、探索活動が十分に行えるよう環境を整えている。子どもの一人ひとりの育ちを支えるよう子どもの気持ちを尊重し、主体的な活動ができるよう援助している。また友だちとの関わりができるよう保育士が仲立ちとなって遊びを発展させている。</p>		
A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保53	a ・ b ・ c
<p><コメント> 非該当項目である。</p>		
A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保54	a ・ <input checked="" type="radio"/> b ・ c
<p><コメント> 障害のある子どもの保育について研修を受け、職員間で学びを深め、障害児の受け入れについて体制整備に取り組んでいるが、今年度開園したばかりで、まだ受け入れの実績がなく、当園としての経験値の蓄積がまだ無いので、今後の取り組みに期待する。</p>		
A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保55	<input checked="" type="radio"/> a ・ b ・ c
<p><コメント> 名古屋市の保育計画を踏まえて、計画に長時間保育の位置づけがなされている。保育時間の長い子どもには安心してゆったりできる環境づくりに努めている。</p>		
A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	保56	a ・ b ・ c
<p><コメント> 非該当項目である。</p>		
A-1-(3) 健康管理		

A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	保57	(a) ・ b ・ c
<コメント> 個別記録から子ども一人ひとりの既往歴や心身の健康状態に関する情報を把握し、職員間で共有している。連絡帳のやり取りを通して日々の健康状態について家庭と情報の共有を行っている。また急な体調変化が起きた場合は、看護師から嘱託医に連絡をする等連携を取っている。		
A-1-(3)-② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	保58	(a) ・ b ・ c
<コメント> 園での健康診断や歯科検診の結果は家庭での生活につなげるよう保護者に伝えている。		
A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	保59	(a) ・ b ・ c
<コメント> 食物アレルギー対応マニュアルがあり、主任が研修に参加し、職員周知を徹底し、受け入れ体制を作っている。現在はアレルギー疾患等のある子どもはいないが、職員会議を通じてアレルギー疾患、慢性疾患等について学びを深めている。		
A-1-(4) 食育、食の安全		
A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	保60	(a) ・ b ・ c
<コメント> 年齢別に落ち着いて食事ができる環境作りをしている。子どもの個人差や食欲に応じて量を加減できるようにしている。		
A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	保61	(a) ・ b ・ c
<コメント> 給食室の衛生管理が適切に実施され、清潔に保たれている。食事の時間帯に日頃から調理員が子どもの食事の様子を見に来て、子どもたちと話を聞いたりして今後の食事の提供に役立っている。		
A-2 子育て支援		
		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭と綿密な連携		
A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	保62	(a) ・ b ・ c
<コメント> 保護者と子育てについて相互理解できるように努めている。連絡帳で情報交換をしたり、降園時に保護者と意見交換を行っている。保育参加ができない保護者にはDVDで様子を伝えている。		
A-2-(2) 保護者の支援		
A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	保63	(a) ・ b ・ c
<コメント> 日頃から声かけに努める等して信頼関係の構築に努めている。保護者の子育ての相談には主任が窓口となり対応している。保護者の支援の状況については職員全員で共通理解を図っている。		
A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	保64	(a) ・ b ・ c
<コメント> 虐待の疑いがある場合の対応についてマニュアルに沿って協議したり、職員間で情報の共有に努めている。職員会議で虐待等権利侵害について勉強会を開いて学びを深めている。		

A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果	
A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)			
A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	保65	a	ⓑ · c
<p><コメント></p> <p>毎年、自己評価チェックリストを用いて、自己評価を実施している。園長と主任がチェックし、保育の改善や向上につなげている。今後は職員個々の自己評価を園全体の自己評価につなげ、組織的な保育の質の向上に向けた取り組みにしていくと共に、職員個々の目標管理の仕組みの構築に向けた取り組みに期待したい。</p>			